

担当 エリア	B	役宅 2	名称	No 6	三の間・玄関(大玄関)
-----------	---	------	----	---------	-------------

エリア
全体の
概要や
特徴等

三の間には武士が集まって話をしたり、殿様が最初にあがる部屋として使われた。米のマークが特徴。玄関にはトリックがある。

細部の
解説



この部屋は武士が使っていた部屋で畳の周りにヘリがあります。これは農民と武士の違いを表すものです。壁には米のマークがあります。



扉は杉の一枚板で武士と農民の境界線の役割をしていて、話を聞かせないという意味があります。



上にはらんまといってひょうたんの形に穴がけられていて、ひょうたんは水を表し、魔よけの効果もあるそうです。



ここの玄関はお殿様や武士の玄関で、お殿様はかごにのってかがれて中まで入ってきたそうです。